

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月25日

計画の名称	狛江市における安全で快適なまちづくりの推進												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	狛江市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全で安心な暮らしを実現し、快適なまちづくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,936	A	1,929	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.36	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)
1	重要な管渠の地震対策実施率を12%(H26)から23%(H30)に増加させる。 重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化、減災対策が行われている延長(km)/重要な管渠の延長(km)	12%	23%	23%
2	下水道管渠の長寿命対策実施率を0%(H26)から8%(H30)に増加させる。 下水道管渠の長寿命化対策実施率 対策対象路線のうち、長寿命化対策不要及び対策が行われている管渠延長(km)/対策対象路線管渠の全延長(km)	0%	8%	8%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
地震対策事業(地震対策)長寿命化対策事業(改築更新)								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	管渠(汚水)	改築	地震対策事業(地震対策)	幹線耐震化、人孔・管浮上防止、可とう化、マンホール化(第2期)	狛江市						1,662		策定済	
		種別1 管渠(合流)管渠(汚水) 管渠(雨水) 狛江市下水道総合地震対策計画(第二期)																		
	A07-002	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	管渠(合流)	改築	総合地震対策計画策定(地震対策)	総合地震対策計画策定(第3期)	狛江市						5		-	
		種別1 管渠(合流)管渠(汚水)管渠(雨水)																		
	A07-003	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	管渠(合流)	改築	長寿命化対策事業(改築更新)	長寿命化対策-第1期(幹線)	狛江市						247		策定済	
		種別1 管渠(合流)管渠(汚水) 狛江市下水道管路施設(第一期)長寿命化計画																		
	A07-004	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	管渠(合流)	改築	ストックマネジメント基本計画策定(改築更新)	ストックマネジメント基本計画策定	狛江市						15		-	
		種別1 管渠(合流)管渠(汚水)管渠(雨水)																		
												小計						1,929		
												合計						1,929		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	管渠（合流）	新設	総合地震対策計画策定（地震対策）	BCP策定	狛江市						7	-		
		減災																		
		種別1 管渠（合流）管渠（汚水）管渠（雨水）																		
													小計					7		
											合計					7				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画事後評価に関する第三者委員会（狛江市環境保全審議会）にて実施。	令和2年2月7日
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の耐震対策実施率を達成したことにより、想定される地震時に、下水道の流下機能の確保に対して一定の寄与が見込める。 ・ 目標の下水道管渠の長寿命化対策実施率を達成したことにより、下水道の長寿命化に対して一定の寄与が見込める。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標の下水道施設の総合地震対策計画（第2期改定、第3期策定）を策定したことにより、上位計画等との整合、計画的かつ効率的な対策実施が図れる。 ・ 目標の下水道施設のストックマネジメント基本計画を策定したことにより、調査結果を踏まえた長期的、計画的かつ効率的な点検・改築・更新等の長寿命化対策の検討が見込める。 ・ 基幹事業である総合地震対策とあわせて減災対策である下水道BCP（地震）を策定したことにより、地震時の業務継続性を維持し、地震対策の向上が図れる。
特記事項（今後の方針等）	
<p>・ 次期社会資本総合整備計画の中で、地震対策は幹線の耐震化、管渠継手部の可とう化、管浮上防止対策を行い更なる管渠耐震化率向上を図るとともに、災害時のマンホールトイレ設置を推進する。 長寿命化対策については、平成30年度に策定したストックマネジメント基本計画に従って、幹線の改築・更新を行い長寿命化を推進する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	23%
	最終実績値	22%
契約不調により工事が実施できなかった管渠接合部の可とう化箇所が12箇所あり、実績値が目標値に届かなかった。次年度に実施予定である。		
2	最終目標値	8%
	最終実績値	8%